

令和3（2021）年6月8日

超党派空襲議連会長

衆議院議員 河村建夫様

全国空襲被害者連絡協議会

運営委員長 黒岩哲彦

菅義偉首相との面談の機会実現への要望書

日ごろ、お世話になっております。国政へのご精励に敬意を表するとともに、とりわけ、未解決の民間人空襲被害者等を救済する法制定に向けてのご努力に感謝申し上げます。

3月10日の超党派空襲議連総会を請けて河村建夫会長・北村誠吾副会長・田中和徳副会長は自民党本部の二階俊博幹事長を訪問し、幹事長の賛同を得ました。しかし、3月17日に下村博文政調会長と河村会長ら議連自民党幹部との面談まで進みましたが、そこで動きが止まってしまいました。その後の河村会長以下みなさまの並々ならぬ意気込みとご尽力には心強く勇気づけられましたが、通常国会も会期の残りは僅かとなってしまいました。

手詰まり状況の中で、全国空襲連としても何かできないものかと思案してまいりました。つきましては、菅義偉首相はその時々現場の国民の声に耳を傾けて政策に反映されているとお聞きしています。そこで、戦後75年の間放置されてきた民間空襲被害者の切なる声と現在の思いを短時間でもお聞きいただくことは出来ないものかと考えました。そして、その機会を超党派空襲議連のお力添えで実現していただきたく、本要望書を作成いたしました。

以上の件宜しくご検討のほどお願い申し上げます。